

- ◇ 問診の段階でウソの患者の申告をうのみにしないでよく聞きなおすこと。
- ◇ 事故をおこさないのが、療術師であると思って毎日を送っている。
- ◇ 筋肉を緩めるいわゆる整体術では事故は起こりにくい。あるとすれば過度の刺激による反応が出すぎた場合くらい。カイロプラティックをいわゆる骨格調整・骨盤調整のみに限定すればリスクは高まる。筋肉の緩和を含めた広範囲な解釈とその実技指導で事故は回避できる。
- ◇ 矯正を行うまでの検査を慎重に行い。スラストの強さ、早さ等を考える。矯正にこだわらない。
- ◇ 療術師は自然治癒力（免疫力）を高め自ずから病にかからない身体を作る施術目的であり、全体療法であり対症療法は施術の目的ではない。
- ◇ 高齢者の場合は、強い施術をさげ、反応を見ながら筋肉の緊張緩和を主体とし、あえて矯正しない。急性の痛みの症状の場合は程度にもよるが、少し日数をおいてから施術する。
- ◇ どんなに注意しても 100%事故を防ぐことは不可能と思います。
- ◇ 検査・問診を念入りに行い、確信の持てない矯正を行わない。焦らず、必要なら治療回数を多めにとるなど安全性を優先する。
- ◇ 性別、年齢、症状、疾患部位の状態、既往歴など特例として医療機関で検査を進める。
- ◇ スラストなど過負荷をかけずに、運動療法などを代替で行う。
- ◇ 多過ぎる施術を行わない。一回では改善にならない事をお客に説明し納得させる。
- ◇ 基礎をしっかり勉強し観察を充分に行うこと。
- ◇ 年齢的なもの。骨の密度の確認。
- ◇ 事故と言える事ではなかったが、施術後に痛みは増すかもしれないと言っておいたので、トラブルにはならなかった。（膝関節痛）
- ◇ 自分の行う手技操作があらゆるケースにおいてどのように変化をもたらすか、施術後一週間の推測（推論）をたてる訓練を試みたらいかがだろうか。
- ◇ 経験をつむことが大事。
- ◇ 何故、症状が出たのか追求し、原因を出来るだけ見い出して施術に入っている。
- ◇ カイロ（ポキッ）という音が一般の人に定着している。カイロは楽しくする為に整復師には期待せず身体各関節の整正と患者とのコミュニケーションを大切にする。無理なアジャストは駄目です。
- ◇ 1. 患者さんの年齢、痛みの程度によって施術法を調整する。
2. 筋肉、靭帯を主力を注ぎその後スラスト法等々…行う。
3. 問診…等々十分に行う。
4. 検査法にとらわれず、他の手法と組み合わせる。
- ◇ 可動域の限界を患者の状態に合わせて施術。
- ◇ 状態を良く診て、勇気をもって施術をこたわる。
- ◇ 最初はソフトな治療から行いコミュニケーションを良く取りながら施術する。

- ◇ 慎重に症状を聞き、操作を低減する。
- ◇ 医学全般の知識、医師との連携、研修・生涯教育、触診・問診等の向上等。
- ◇ 研修を続ける。
- ◇ 問診で炎症等を把握し検査（整形外科学）等をし、ソフト治療を行う。
- ◇ 学術的知識、能力、経験を重ね、素早い判断力を身につけていけるよう努力する。
- ◇ 症状が悪化した原因をしっかりと認識し、今後と同じ事を繰り返さないようにしていく。
- ◇ 病院の検査も必要だと思います。
- ◇ 理学検査の充実
- ◇ 問診や触診を注意深く行い、矯正にこだわらずにソフトな治療法を選んで治療を進める。
- ◇ 症状やADL動作を見極めて的確な介助を行う。又、禁忌症だからと言うより、その病因に対しての“正しいアプローチ”を出来るべく勉強して行かなければならない。禁忌症についても、保険請求のためにつけられている傷病名が非常に多くあるという現状もしっかり踏まえるべきだ。
- ◇ 初診の問診時に危険だと感じれば、無理せず、すぐに病院に行ってもらうことをすすめるべきだと思います。自分の一人の力で何とかしようとするのが危険だと思います。
- ◇ 患者さんの状態をしっかりと把握できるように問診、視診、スタティック・モーションパルペーションをしっかりと練習し、活かす。
- ◇ 完全に回避することは不可能だが、原因の追求、知識、経験の積みかさねにより事故の回避率を高めつづけていく。
- ◇ 中高年の女性に対しての矯正強弱を変化させる。
- ◇ 問診、整形学テスト、神経学テストなどにより治療法を判断する。
- ◇ ・施術にあたっては最大限の注意を払う。
 - ・問診・検査等を確実に行う。
 - ・必要があれば医師の診療をあおぐ。
 - ・知識・技術の向上に努める。
- ◇ ・施術者地震の技術、知識向上。
 - ・臨床経験を積む（研修医制度のようなもの）
 - ・禁忌症をテーマにしたセミナーをしてほしい。
 - ・実際の症例報告、事故例報告を教えてほしい。
- ◇ 禁忌症の中にも病院では治らなかったのに施療して欲しいとの要望があるので、慎重な検査と施療で対応する。
- ◇ 経験を生かした“カン”と、検査をキチンとする。
- ◇ ・可動域を回復させるべき場所が特定でき、正確に行えばよい。
 - ・その人にあった施術ができればよい。
 - ・関節生理・解剖学を熟知した正確な施術が必要。
 - ・各団体が最低限の知識、技術の認定を行い、安全性に立脚したガイドラインを設け、

クリアしてから各テクニックに進むべき。

認定には安全な施術、禁忌症と対する処置法の実技、筆記試験、その監査機関の必要性（各団体の総括）

- ◇ 細かく問診をして検査を十分に行い、年齢、症状の程度に十分に注意して施術すればまず事故は回避できると思います。それには、解剖学、生理学、病理学、検査学を十分に習得しておく必要はあります。

ただ日本のカイロの現状は、基礎医学、検査診断学に数時間の教育団体もあれば、数百時間のところもあり、リスクマネジメントの部分において大変格差があるように思います。解剖学、関節機能学をあまり知らない人がアジャストメントするなどもってのほかで、こういう教育団体、卒業生がいる限り事故はなくならないと思います。

- ◇ 急いで効果、結果を求めず、その時間可能な事を行うに止める。痛む場所への治療は極力後回しにして、遠い場所から身体の治癒力の向上を目的にした治療で結果として良くなった、というカイロ本来の哲学を重視した治療を行う。
- ◇ 安全基準の作成
- ◇ 急性期で炎症がピークの痛くなってから（2～3日目）に来院された場合でみれば事故に該当すべきかもしれない。この場合、安静、冷却を指導する。又、提携して頂いている総合病院院長に相談するか、紹介する。
- ◇ レントゲンを撮れること
- ◇ 自由診療の為に初患者には必ず何かやらなければならないと思い、必ずアジャスト等をする人が多いが、時には固定のみして患者を帰して次回アジャストをすることも必要。
- ◇ 治療の種類によって、患者さんに合否を見分けてもらう。治療中に感じる変化（痛い・熱い等）はすぐ言ってもらう。即対処する。
- ◇ 筋力テストを応用して矯正に刺激の種類、量、順序を決定する。
- ◇ 患者さんの体力を配慮し治しすぎない。
- ◇ 高齢者の治療には、十分な問診と軽度の治療方法。重病者には既往症について質問して薬の服用を確認。
- ◇ 問診等に十分時間をかけ、その他の検査をする事でまず自分が治療をしてよいのか又医師に依頼した方がよいのかを判断し、治療に関しては出来るだけハードな直接スラストを避ける。スラストだけにこだわらず、ソフトなテクニックで治療を進めた方が良いと思う。
- ◇ 問診検査をもっと徹底する。
- ◇ ・ 施術の強さ、量的なことを、できる限り少ないことから始めて行く。
・ 症状悪化は禁忌症でなくてもありえる。
・ 施術中の患者の状態を細かく、診る、聞く、感じる。

(資料)

自由記述

(カイロプラクティックの患者の調査結果)

問1 どうしてカイロプラクティック治療を知ったか（その他の理由、自由記述）

- ◇接骨院で知った
- ◇以前、治療を受けた。講習も受けた。
- ◇治療で
- ◇知らなかった
- ◇親にいわれた
- ◇治療に来て
- ◇治療に来て
- ◇テレビで見た
- ◇雑誌に載った広告を見て
- ◇親から聞いた
- ◇主人から勧められて
- ◇身体を痛めたときに来た病院がやっていたから
- ◇通院して知りました
- ◇祖母に勧められて
- ◇孫がカイロをやっている
- ◇全く知りませんでした
- ◇整骨院に治療に来て知った
- ◇当院で
- ◇通院して分かった
- ◇家族の勧め
- ◇自分で
- ◇子供達から聞いて
- ◇広告で知った
- ◇身内から勧められた
- ◇健康イベントで
- ◇母より
- ◇家族から
- ◇家族が受けたことがある
- ◇家族
- ◇母から勧められた
- ◇ホームページ
- ◇HP
- ◇インターネット
- ◇約30年前、数年間通っていた。友人の紹介で。

- ◇ホットペッパーを見て
- ◇指圧 24 バリリラックスにて
- ◇スポーツの体調管理のために同僚が通っていたから
- ◇新聞記事
- ◇昔、千代の富士の骨折他でカイロ治療に何となく興味があったため

問2 どうして治療を受けようと思ったか（その他の理由、自由記述）

- ◇近所だから
- ◇親にいわれた
- ◇膝が痛いから
- ◇痛みを治すため)
- ◇両方の膝が痛いから
- ◇悪いところを治したい
- ◇来たところがこの治療をしていた
- ◇最初はカイロかどういうものが分からず受診した
- ◇腰が弱く、時々痛くなったためとスポーツをしているので体調を整えるため
- ◇整骨院に行って不調になり、友人に勧められて
- ◇ギックリ腰になった
- ◇病院での治療には限界があり、両方の良いところを使うことがベスト
- ◇足首のねんざ
- ◇試しに
- ◇ヘルニア
- ◇骨格、特に背骨の重要性を本で知ったから
- ◇肩こり、腰痛等があったため
- ◇ギックリ腰
- ◇別の治療を色々受けたが思わしくなかった
- ◇首から肩が痛く、膝も痛いため
- ◇腰の治療のため
- ◇自然治癒力を活かした治療と感じました。薬に頼らぬ事が魅力。

問4. 具体的症状及び病名についての記述（【】内は病名）

- ◇ねんざ
- ◇腰痛や肩こり、背中の痛み等
- ◇ストレス
- ◇こり、張り、激痛【頸椎ねんざ、腰痛】
- ◇全身のはり
- ◇中腰が痛い
- ◇首が動かなくなった
- ◇右肘が痛い
- ◇足の裏が痛い
- ◇腰痛
- ◇首が動かない
- ◇肩こり、腰痛
- ◇肩がこる、腰が痛い
- ◇膝痛
- ◇腰痛
- ◇腰痛
- ◇腰痛
- ◇背中が痛くて
- ◇肩が上がりにくい
- ◇いつも腰が重苦しいから
- ◇腫れと痛み
- ◇歩くと腰に痛みが出る
- ◇朝起きたとき【座骨神経痛】
- ◇夜になると寝返りができないから
- ◇立ったり座ったりするとき
- ◇夜になると重い感じがする
- ◇疲れやすい
- ◇腰痛
- ◇肩こり、腰痛
- ◇歩行が困難【パーキンソン病】
- ◇こり
- ◇こり
- ◇膝痛
- ◇腰痛

- ◇肩こり
- ◇不妊症（プロラクチンが他の人より少ない）
- ◇足裏
- ◇手首が動きにくい
- ◇ねんざ
- ◇歩行時の痛み
- ◇右膝に水が溜まる
- ◇首が回せなくなり肩が重い
- ◇養生のため【骨盤骨折治療後】
- ◇常に痛い。重いものを持ったとき激しい痛み。
- ◇頭痛、肩こり等
- ◇腰が痛い
- ◇膝
- ◇事故で
- ◇まっすぐ歩けない、吐き気、頭痛、手指のこわばり
- ◇歩行困難
- ◇正座をすると筋がつって座れない
- ◇ぎっくり腰
- ◇左の腰から足にかけて痛みが出る
- ◇仕事をして苦しくなる
- ◇五十肩
- ◇腕のしびれ
- ◇腰痛、ハネ指
- ◇10分～20分歩行すると下肢がだるくて歩行困難になる
- ◇主にけが
- ◇身体全体に痛みを感じている
- ◇転倒し肩を痛めた
- ◇腰が痛い
- ◇腕が上げづらく痛い。左足に近く異常あり、横断性脊髄炎の後遺症だと思います。
- ◇全身的なだるさ
- ◇痛い
- ◇肩や背中の張りなど
- ◇腰痛
- ◇腰痛
- ◇腰が痛いような重いような感じ。下肢の痛み
- ◇痛み、軽いめまい

- ◇心臓
- ◇首、肩が痛くて回らない。腰は重い。
- ◇腰痛
- ◇腰が痛い、はっている【椎間板ヘルニア】
- ◇首、肩が張る
- ◇肩こり、腰痛【椎間板ヘルニア】
- ◇痛み
- ◇背中が張る。腰が痛い。
- ◇ぜんそく
- ◇立ち上がり膝が痛い
- ◇【座骨神経痛】
- ◇痛い
- ◇右肩の関節がゆるむ
- ◇足の太ももにしびれがある
- ◇腰痛と手のしびれ
- ◇肩が痛い
- ◇ストレスによる
- ◇【ギックリ腰】
- ◇卵巣ガンの抗ガン剤治療のため治療後の免疫上昇と痛みの軽減
- ◇足のむくみ
- ◇左手のしびれ
- ◇しびれ、こり【座骨神経痛】
- ◇痛い【変形性股関節痛】
- ◇首から肩にかけてのこり
- ◇肩こり、背中のこり
- ◇腰、背中、肩が重い
- ◇足首のねんざ
- ◇腰痛、首痛【腰部ヘルニア】
- ◇現在は腰痛で悩んでいるが、ひどい肩こりもある
- ◇首肩のこり
- ◇四十肩
- ◇痛みがある。はる。
- ◇こる
- ◇腰痛、肩こり
- ◇肩こり
- ◇肩こり

- ◇頭痛
- ◇腰痛
- ◇骨の歪み
- ◇肩こり、生理痛がひどい
- ◇痛い
- ◇こり
- ◇むち打ち
- ◇動作時に痛みがある
- ◇肩こり、下肢の傷み
- ◇背痛、下肢の関節痛、月経異常
- ◇回らない
- ◇スポーツで腰を痛めて歩けなくなった
- ◇疲労時に腰痛を感じる
- ◇重い
- ◇歪みが気になったので
- ◇腰痛
- ◇腰痛
- ◇肩こり、腰痛、膝の痛み
- ◇肩こり、猫背、冷え性、腰痛
- ◇鏡で見てゆがんでいる。たまに痛む【特になし】
- ◇【側彎症】
- ◇動かすと痛い
- ◇左の腰から足にかけてのしびれがつらいため
- ◇こり、痛み
- ◇アレルギー
- ◇OD
- ◇腰痛症
- ◇こり
- ◇シビレ
- ◇痛くなってしびれる感じがしていた
- ◇頭痛
- ◇変な感じがする
- ◇婦人科系疾患
- ◇股関節痛
- ◇全身を治して頂いています
- ◇膝の痛み、肩こり、頭痛

- ◇首筋の痛み、五十肩、股関節が開きにくくなった。腱鞘炎
- ◇【むち打ち】
- ◇腕が上がらない【四十肩】
- ◇膝の痛み、膝に水が溜まっていたので
- ◇頭痛
- ◇肩こり、背中痛、時々腰痛【慢性膵炎】
- ◇左足に違和感あり、歩きにくい
- ◇痛み
- ◇腰痛、左下肢の痛み【軽度の椎間板ヘルニア】
- ◇痛み
- ◇左膝疼痛により長期間の異常姿勢 特に病傷名なし
- ◇下肢の傷みしびれ【椎間板ヘルニア】
- ◇【眼精疲労】
- ◇身体全体に痛さを感じるから
- ◇【パーキンソン病】
- ◇膝の違和感
- ◇腕に力を入れると痛むため
- ◇いたみ
- ◇肩、腰痛、胸焼け、腹痛
- ◇腰が曲がっているから
- ◇頭が痛い【偏頭痛】
- ◇左膝の痛み
- ◇左側の痛み
- ◇目がしばしばして開きづらい
- ◇歩行困難
- ◇膝痛からはじまって腰痛になったから【白内障】と言われて、少しでも軽くなりたい
- ◇胸の痛み、左肺の重い感じ、肩の痛み、目のくぼみ